

4年間の流れ

2024年度(予定)

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:76単位
 全学共通科目:30単位
 広域選択:18単位

■必修:26単位
 ■選択必修:24単位
 ■選択:26単位

成長のプロセス	1年次	2年次	3年次	4年次
必修	・日本史学史Ⅰ・Ⅱ ・日本史学基礎演習① ・日本史概説		・日本史学演習Ⅰ	・日本史学演習Ⅱ ・卒業論文
選択必修	・東洋史概説 ・記録史料学Ⅰ(古代・中世) ・記録史料学Ⅱ(近世) ・記録史料学Ⅲ(近代) ・記録史料学Ⅳ(近現代)	・西洋史概説 ・日本考古学概説	・外国考古学概説 ・日本古代史 ・日本中世史	・史学概論 ・日本近世史 ・日本近代史 <small>この中から2科目を選択します。</small>
選択	④ ・日本古代史特講Ⅰ・Ⅱ(A/B) ・日本中世史特講Ⅰ・Ⅱ(A/B) ・日本近世史特講Ⅰ・Ⅱ(A/B) ・日本近代史特講Ⅰ・Ⅱ(A/B) ・日本近現代史特講Ⅰ(A/B) ・外国史各説Ⅰ～Ⅻ ・東洋史特講Ⅰ～Ⅴ(A/B) ・西洋史特講Ⅰ～Ⅲ(A/B)		・西洋史特講ⅣA ・外国史学文献史料講読Ⅰ～Ⅻ ・考古学各説Ⅰ～Ⅳ(A/B) ・考古学特講Ⅰ～Ⅹ(A/B) ・考古学史 ・日本仏教史⑤ ・日本文化史 ・西洋文化史Ⅰ・Ⅱ	・有職故実⑥ ・日本民俗学 ・歴史地理学A/B ・人文地理学概説 ・地誌学⑦ ・哲学史⑧ ・仏教美術史 ・西域美術史 ・美術史概説⑨ ・ラテン語 ・ギリシャ語 ・社会経済史Ⅰ・Ⅱ ・仏教史Ⅰ・Ⅱ ・政治思想Ⅰ・Ⅱ ・史料調査実習

① 日本史学基礎演習

日本史学の研究手法の基礎を身に付けることを目指します。導入として、歴史学・歴史研究についての講義を、その後、学生の個人研究と発表を行い、実践的に学びます。

④ 日本古代史特講Ⅰ・Ⅱ～日本近現代史特講Ⅰ

古代から近現代までの政治や経済だけでなく、交通や宗教、技術やメディアの歴史など、幅広いテーマの講義から選択できます。興味のある分野について、専門的に深く学びます。

⑦ 地誌学

地誌学とは、あらゆる要素を加味してその地域性を読み解く学問です。ここでは、日本の地誌を基本レベルまでさかのぼって学習。各地方の特徴を理解していきます。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 古代情報網の確立と崩壊
- 伊賀国黒田荘の成立過程と天喜事件
- 鯨絵から見る民衆意識
- 開拓使官園とホーレス・ケブロン の動農政策
- アマテラス信仰の成立過程について
- 織田信長の畿内平定と延暦寺焼き討ち
- 新選組と多摩の豪農層
- 学歴貴族とベースボール
- 昌泰の変の原因
- 江戸歌舞伎の展開と幕府統制
- 明治初期における旧会津藩士の処遇
- 太平洋戦争中の沖繩戦

② 日本史史料講読Ⅰ～Ⅳ

古代から近代にかけての史料の中から、各時代に関するさまざまな文書や記録を取り上げ、講読していきます。書かれている内容だけでなく、歴史的背景についても学んでいきます。

⑤ 日本仏教史

インドで生まれた仏教はどのように日本に伝わり、そして広まったのでしょうか。インド、中国、朝鮮半島との関わりや、日本の一般民衆の抱える苦悩など、多角的に考察していきます。

⑧ 哲学史

古代ギリシャから、アリストテレス、カントなど、西洋の哲学者の思考を解説します。物事の本質を突き詰めた彼らの考えを学び、論理的な思考力と、革新的な発想力を養います。

③ 古文書研究Ⅰ・Ⅱ

歴史研究に欠かせないのが、史料から事実を読み解く力です。この講義では中世・近世文書を中心に内容を理解するとともに、花押や料紙、筆跡といった観点についても解説します。

⑥ 有職故実

有職故実とは、古来の伝統に基づいた朝廷や公家、武家の法令や儀礼、慣習のことをいいます。画像や映像を多く用いながらこれらについて学び、中古・中世の生活への理解を深めます。

⑨ 美術史概説

古代からルネサンスにかけての西洋美術の歴史をたどります。描かれる物や形、出来事から、作品と人々、社会との関係を読み解くその手法は、歴史を学ぶ上での基礎力となります。